



リチウムイオンバッテリー 取り外し・回収マニュアル エクストレイル e-POWER(T33型)

2022年7月

目次

1.	はじめに	3
(1)	はじめに	3
(2)	リチウムイオンバッテリー取り扱い時の注意事項	4
(3)	安全な回収のための重要事項	5
1)	高電圧回路の遮断	5
2)	高電圧コネクタ、端子の処理	5
3)	転売・譲渡・改造・二次利用の禁止	5
2.	リチウムイオンバッテリー引き取り依頼	6
(1)	引き取り依頼	6
(2)	お引き取りに関する依頼及び注意事項	6
3.	安全な作業を行うための重要事項	7
(1)	特別教育、指名作業の義務付け	7
1)	労働安全衛生法	7
2)	電子医療機器装着者の作業禁止	7
(2)	高電圧作業上の注意	7
1)	安全に関する表記について	7
2)	警告	7
3)	高電圧ハーネス、機器の識別	8
4)	高電圧コネクタ、端子の処理	8
5)	作業中の携帯禁止品	8
6)	取り外したリチウムイオンバッテリーの保管	8
7)	「高電圧作業中」の表示	8
4.	液漏れへの対応	10
5.	引き取りをお断りする事例	11
6.	安全な取り外しのために	12
(1)	車両外観上の特徴	12
(2)	本マニュアルの見方	13
(3)	準備品	13

目次

7. 高電圧系部品と配線の位置	15
8. リチウムイオンバッテリー仕様	16
9. リチウムイオンバッテリー取り外し	17
(1) 放電手順	17
(2) 高電圧遮断手順	19
(3) フロントシートの取り外し	21
(4) リヤシートの取り外し	21
(5) フロント及びリヤのキッキングプレートを取り外し.....	22
(6) センタピラーロアガーニッシュの取り外し.....	23
(7) DC/DC コンバータブラケットロアの取り外し	24
(8) バッテリー冷却システムの取り外し.....	31
(9) リチウムイオンバッテリーの取り外し.....	33
10. 引き取りの準備	36

1. はじめに

(1) はじめに

リチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアル(以下「本マニュアル」)は、当社が製造・販売する電気自動車日本国内において廃車になった際、搭載されているリチウムイオンバッテリーを回収・リサイクルするための解体事業者向けマニュアルです。

リチウムイオンバッテリーは高電圧であり、作業の取り扱いを誤ると感電など思わぬ重大傷害につながるおそれがあります。

安全に作業していただくために、事前に本マニュアルをよくお読みいただき、注意事項を遵守してください。

車種によりバッテリーユニットの形状、取り外し方法等が異なりますので、必ず車種をご確認の上、対応するリチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアルを熟読いただき、安全な作業を行ってください。

本マニュアル、及び各車種のリチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアルは、日産自動車ホームページにも記載しており、今後発売する車種についても順次掲載していきます。

URL: https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/ENVIRONMENT/A_RECYCLE/BATTERY/

(2) リチウムイオンバッテリー取り扱い時の注意事項

日産自動車(株)では、当社製リチウムイオンバッテリーの転売・譲渡・改造・二次利用等による事故・損害等については、その一切の責任を負いかねます。

使用済リチウムイオンバッテリーの取り扱い時には、以下の注意事項をご確認の上、十分ご注意ください。なお、以下の注意事項を遵守しない場合は、重大な損害や法的責任が発生する場合があります。

二次利用・高電圧に関する注意

リチウムイオンバッテリーは分解・改造または不適切な二次利用を行うと、感電、発煙・発火、電解液漏出事故等が発生し、重大事故に繋がる恐れがあります。

また、リチウムイオンバッテリーは高電圧であり、取り扱いを誤ると感電等重大事故の恐れがあります。取り扱い時には以下の項目を遵守してください。

- 分解、改造などバッテリーに手を加えないこと
- 高所からの落下などバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと(衝撃を加えられると火災や液漏れが発生するおそれがあります。)
- 直射日光/雨水があたらない場所で保管すること
- 取り外したバッテリーは火に近づけたり、加熱したりしないこと

(3) 安全な回収のための重要事項

1) 高電圧回路の遮断

e-POWER システム車は、最大 350V 程度の高電圧バッテリーを有しています。取り外し作業を行う前に、必ずサービス・プラグを引き抜き、高電圧の遮断措置を行ってください。

サービス・プラグを抜かずに高電圧部位の解体、分解、切断等を行うと感電による重度の火傷又は重大傷害や最悪の場合、死亡に至る可能性があります。

2) 高電圧コネクタ、端子の処理

電気自動車から取り外したリチウムイオンバッテリーは高電圧のため取扱いに注意が必要です。

取り外した高電圧ハーネスコネクタ、端子は取り外し後直ちに絶縁処理を行ってください。

3) 転売・譲渡・改造・二次利用の禁止

安全上の事故防止のため、絶対に転売・譲渡・改造または不適切な二次利用をしないでください。

リチウムイオンバッテリーが適切に回収されずに改造されたり、転売・譲渡、又は不法投棄により第三者に渡ると、相手方でこれらの危険性が認識されず、重大な事故を引き起こすおそれがあります。

車両からリチウムイオンバッテリーを取り外した後は、速やかに自動車再資源化協力機構(自再協) HP より回収を依頼してください。

2. リチウムイオンバッテリー引き取り依頼

リチウムイオンバッテリーを搭載したまま車両のソフトプレス等を行うと、発火のおそれがありますので、必ず取り外してください。

(1) 引き取り依頼

下記、自動車再資源化協力機構(自再協)HP より回収を依頼してください。

自動車再資源化協力機構（自再協）

LiB 事業部 LiB 回収グループ

お問い合わせ (Tel) ⇒0570-000-994

回収依頼⇒<http://www.lib-jarp.org>

(2) お引き取りに関する依頼及び注意事項

1) 取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス

リチウムイオンバッテリーの具体的な取り外し作業は、各車両別の取り外し・回収マニュアルに沿って行ってください。

下記ホームページ上で最新版をご確認ください。

取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス

https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/ENVIRONMENT/A_RECYCLE/BATTERY/

3. 安全な作業を行うための重要事項

(1) 特別教育、指名作業の義務付け

1) 労働安全衛生法

労働安全衛生法 第 59 条及び労働安全衛生規則第 36 条（特別教育、指名作業）

高電圧回路に関わる点検・整備を行う作業者には労働安全衛生法第 59 条ならびに労働安全衛生規則第 36 条に定められた特別教育の受講が義務付けられており、指名作業の手続きを取る必要があります。

2) 電子医療機器装着者の作業禁止

車両には強力な磁石を持つ部品が使われています。ペースメーカー等の電子医療機器装着者は、それらの機器に接近すると磁力の影響を受けるおそれがあるので、車両の作業は絶対に行わないでください。

(2) 高電圧作業上の注意

1) 安全に関する表記について

以下の項目は、安全に関して特に重要な事項を説明しています。必ずお読みください。

危険：守らないと死亡、又は重大な障害につながる事項及び作業要領 警告：守らないと生命の危険、又は重大な障害につながるおそれのある事項及び作業要領 注意：守らないと障害や事故、又は車両や構成部品の損傷につながるおそれのある事項及び作業要領で、特に注意すべき事項

2) **警告**：以下の警告事項を遵守して作業を実施すること。

- e-POWER システム車は高電圧リチウムイオンバッテリーを有しているため、取り扱いを誤ると感電、漏電などのおそれがある。取り扱い時は、作業手順に従い正しい作業を実施すること。
- 高電圧系の作業を実施する際は、必ず絶縁保護具を着用すること。
- 高電圧系のハーネス、及び部品の取り扱い時は、高電圧回路を遮断するため、必ずサービス・プラグを取り外すこと。
- 取り外したサービス・プラグは、作業中に他の人が誤って接続することがないように、必ずポケットに入れて携帯すること。
- 高電圧作業時は、担当者を明確にし、他の人が車両に触れないようにすること。また、作業時以外は耐電カバーシート等で高電圧部品を覆い、他の人が触れないようにすること。

安全な作業を行うための重要事項

- リチウムイオンバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと。
(ニブラを使った解体、リチウムイオンバッテリーが車載されている状態でのプレス、フォークリフト等による突き刺し、高所からの落下等)

3) 高電圧ハーネス、機器の識別

高電圧ハーネス、コネクタはオレンジ色に統一してある。

また、リチウムイオンバッテリーをはじめ高電圧機器には「高電圧」のオレンジ色のラベルが貼り付けてあるので、これらのハーネスや部品には不用意に触れないこと。

4) 高電圧コネクタ、端子の処理

取り外した高電圧ハーネスコネクタ、端子は取り外し後直ちにリチウムイオンバッテリー側に絶縁テープを貼り絶縁すること。

5) 作業中の携帯禁止品

高電圧と強力な磁力を持つ部品が使われているので、短絡のおそれのある金属製品や、磁気記録破壊のおそれのある磁気記録媒体(キャッシュカード、プリペードカード等)を身につけて作業を行わないこと。

6) 取り外したリチウムイオンバッテリーの保管

雨水にぬれない場所、直射日光に当たらない場所で保管すること。

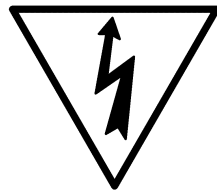
取り外したリチウムイオンバッテリーは火に近づけたり、加熱しないこと。

7) 「高電圧作業中」の表示(次ページ参照)

高電圧系の作業を行っている車両には「高電圧作業中に付き触るな!」の表示を行い、他の作業者にも注意を喚起する。

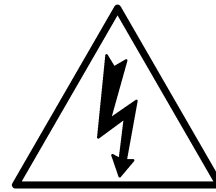
作業担当者

高電圧作業中に付き
触るな！



警告！

警告！



高電圧作業中に付き
触るな！

作業担当者

4. 液漏れへの対応

リチウムイオンバッテリーの電解液は無色透明で芳香臭があります。

電解液は、万が一リチウムイオンバッテリーが破損した場合にも、リチウムイオンバッテリーから大量に流出することはありません。

万が一、リチウムイオンバッテリーの電解液が漏れている場合は引火性があるため、直ちに火気より遠ざけてください。十分に換気を行い、電解液は耐溶剤保護具を着用してウエス等で拭き取ってください。

また、液漏れした電解液及びその蒸気は、空気中の水分と反応して酸性の物質を生成する可能性があり、皮膚や目に刺激性があるため、万が一、電解液に触れたり目に入ったりした場合は、多量の流水でよく洗い流し、速やかに医師の診断を受けてください。

本車両に使用されているリチウムイオンバッテリー電解液以外のフルードは、エンジン車両で使用されている一般的な自動車フルードと同様です。エンジン車両の場合と同様の処置を行ってください。

注意: 電解液漏出時に用いる吸着マット、ウエスの廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の産廃業者に委託してください

5. 引き取りをお断りする事例

本マニュアル対象外のリチウムイオンバッテリー、又は車種別取り外し・回収マニュアルに沿わない取り外しによるリチウムイオンバッテリーは原則として引き取りはお断りさせていただきます。

本マニュアル対象のリチウムイオンバッテリーは、以下の条件を全て満たしているものとします。

- 2010 年 11 月以降に発売された
- 日産自動車製車両に搭載されている
- 駆動用のリチウムイオンバッテリー

引き取り対象外のリチウムイオンバッテリーであるため、引き取りをお断りする事例
(代表例)

- (1) 他社製車両搭載のリチウムイオンバッテリー
- (2) 自社で取り外し作業を実施していないリチウムイオンバッテリー

本マニュアルに沿った取り外しが行われていないため引き取りをお断りする事例
(代表例)

- ① サービスプラグを外していないもの
- ② オレンジ色の高電圧配線類を切断しているもの
- ③ ニブラ等重機を用いたためリチウムイオンバッテリーが変形・破損したもの
- ④ バッテリーケースを分解したもの
- ⑤ 屋外に長期間放置されて損傷が激しいもの

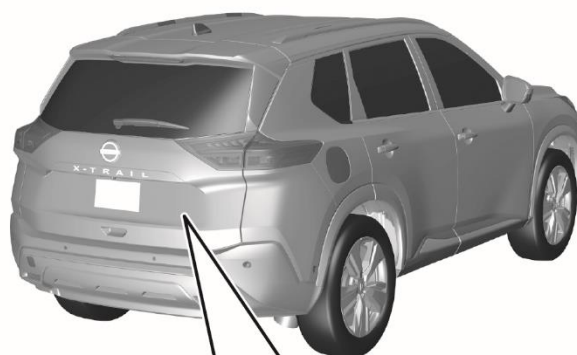
6. 安全な取り外しのために

まず始めに、前項 3. 安全な作業を行うための重要事項 を熟読の上、以下に記載の内容に沿った安全な取り外しを行ってください。

(1) 車両外観上の特徴

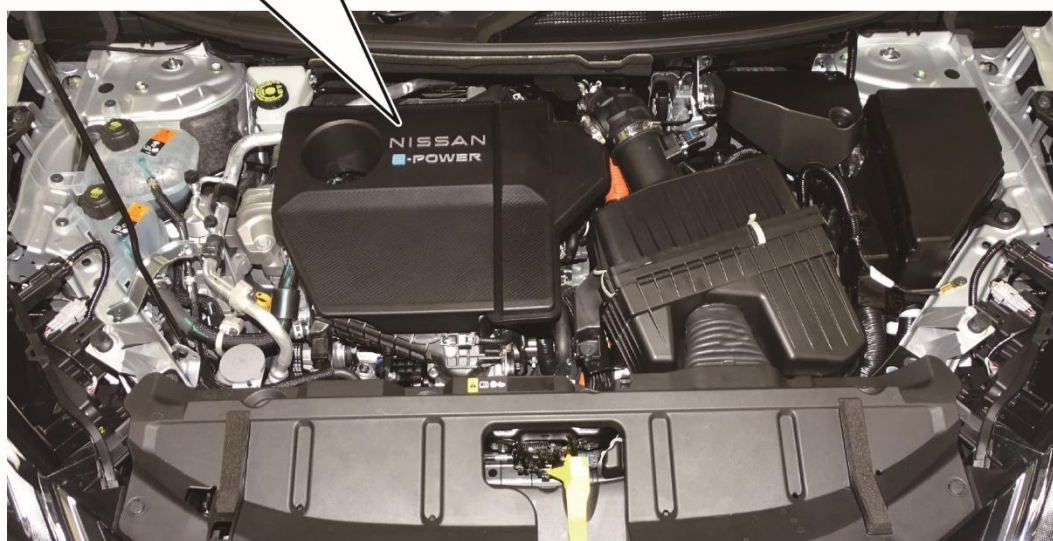
本マニュアルは、エクストレイル e-POWER 専用マニュアルです。

下記の特徴から車種を特定してください。



NISSAN
e-POWER

e-POWER

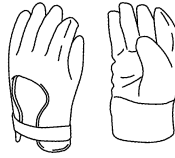
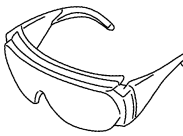
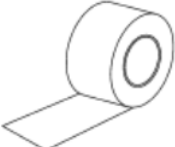


安全な取り外しのために

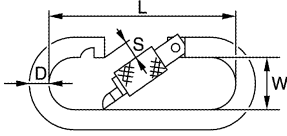
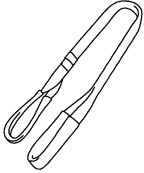
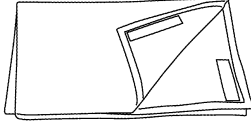
(2) 本マニュアルの見方

記号	意味
 (感電マーク)	高電圧が掛かっている、または掛かっている可能性がある部品、コネクター等を外す場合に作業を誤ると感電するおそれがある。
 (絶縁手袋)	高電圧部品の取り扱い時に着用する。
 (絶縁安全靴)	高電圧部品の取り扱い時に着用する。
 (耐電ヘルメット)	リフトアップした時の、高電圧部品の取り扱い時に着用する。
 (フェイスシールド/保護メガネ)	高電圧端子、ハーネスの脱着・点検の際着用する。 (ショートにより火花が発生する可能性がある。)

(3) 準備品

名称		用途/仕様
絶縁ゴム手袋 (600 V までの低圧作業用)		高電圧系部品の取り外し
保護用革手袋		高電圧系部品の取り外し 耐電ゴム手袋の保護
耐電安全靴		高電圧系部品の取り外し
保護メガネ/フェイスシールド		高電圧系部品の取り外し
絶縁テープ		高電圧ハーネスコネクター、端子の絶縁処理

安全な取り外しのために

名称		用途/仕様
カラビナ(小)		リチウムイオンバッテリーの取り外し 参考: D : 8.0 mm L : 74.0 mm S : 10.0 mm W : 22.5 mm
スリングベルト		リチウムイオンバッテリーの取り外し 長さ : 2.0 m
耐電カバーシート		作業中断時の感電防止

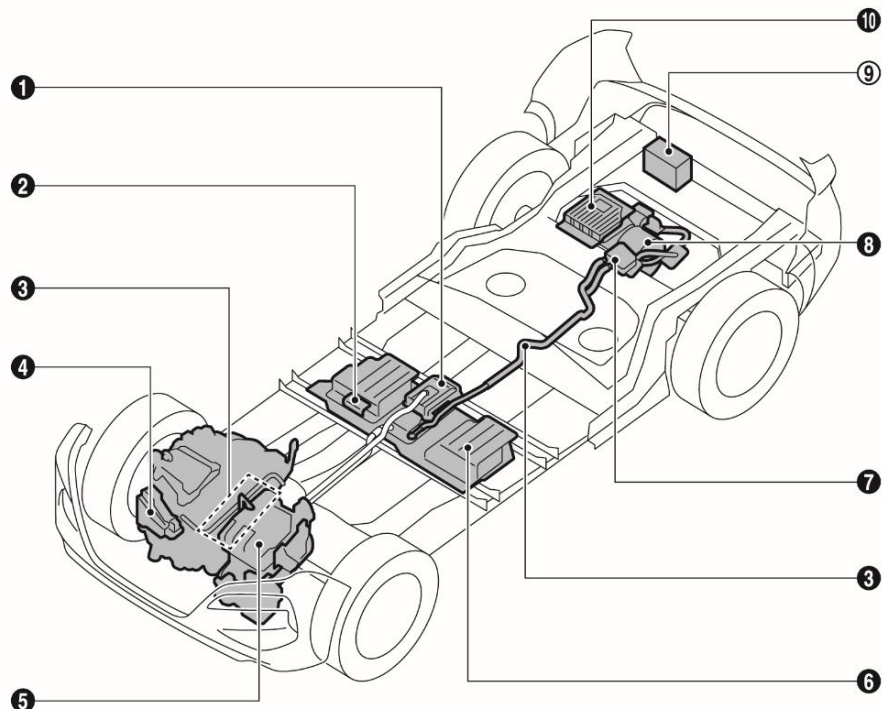
7. 高電圧系部品と配線の位置

本車両は、最大約 350V の高電圧システムを備えています。

高電圧系部品と配線の位置を確認し、十分に注意して作業を実施してください。

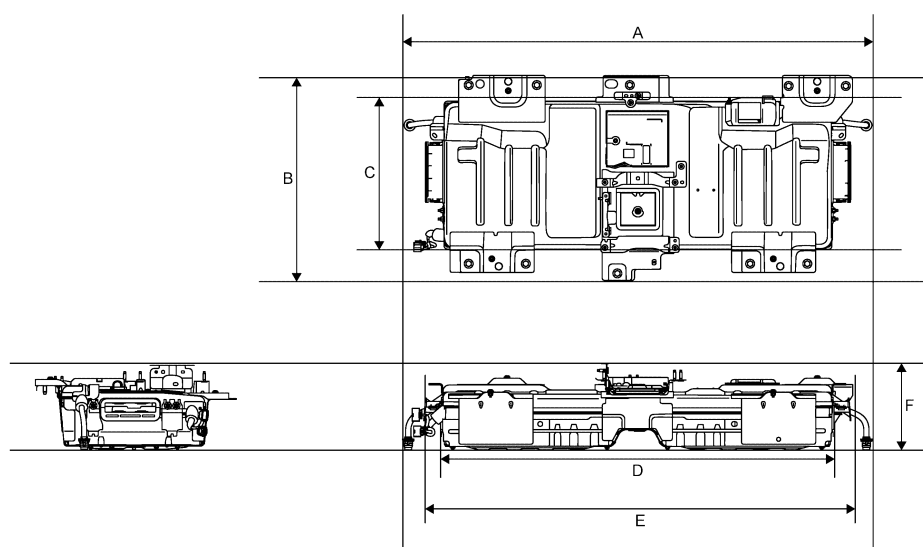
番号	構成部品	配置	説明
❶	DC/DC コンバーター	センターコンソール下	リチウムイオンバッテリーの高電圧を変換して、12V バッテリーに供給する
❷	サービス・プラグ	運転席足元	リチウムイオンバッテリーからの高電圧回路を機械的に遮断する
❸	高電圧ハーネス (オレンジ色)	エンジンルーム	オレンジ色のハーネスで、インバーターと各高電圧部品を接続し、高電圧電力を供給する
		フロア下部	オレンジ色のハーネスで、リチウムイオンバッテリーとインバーターを接続し、高電圧電力を供給する
❹	電動コンプレッサー	エンジンルーム	高電圧で作動する専用のモーターで、エアコンガスを高圧に圧縮する
❺	インバーター	エンジンルーム	- 発電モーターで発生した交流電流を直流電流に変換してリチウムイオンバッテリーに供給する。 - リチウムイオンバッテリーの直流電流を交流電流に変換して駆動モーターに供給する。
	発電モーター	エンジンルーム	エンジン回転により回転し、発生した電力をリチウムイオンバッテリー、または駆動モーターに供給する
	駆動モーター	エンジンルーム	三相交流の電力を動力(回転力)に変換する
❻	リチウムイオンバッテリー	運転席、助手席下部	車両を駆動するための電力を蓄え、出力する
❼	パワープラグジャンクションボックス	ラゲッジルーム下	パワープラグインバーターへ、高電圧電源を供給する
❸	4WD 車用インバーター	リヤフロアパネル下	リチウムイオンバッテリーの電力を変換し、駆動モーターを制御する
	4WD 車用駆動モーター	リヤフロアパネル下	三相交流の電力を動力(回転力)に変換する
⑨	12V バッテリー	ラゲッジフロアボード下	12V で作動する電装品に電力を供給する
❷	パワープラグインバーター (1500W AC インバーター)	ラゲッジルーム下	100V AC 電源(1500 W)を供給するためにリチウムイオンバッテリーの電力を変換する

* : 黒く塗りつぶされた数字は高電圧部品を示しています。



8. リチウムイオンバッテリー仕様

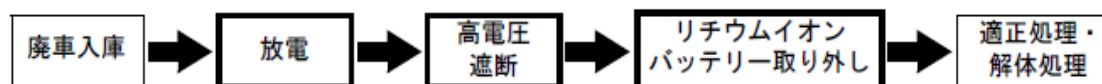
項目	仕様
種類	リチウムイオン電池
構成	4 モジュール (96 セル)
定格電圧	(V) 350.1
総重量	(kg) 53.8



パック外形寸法	A	(mm)	1140
	B	(mm)	503
	C	(mm)	375
	D	(mm)	960
	E	(mm)	1047
	F	(mm)	214

9. リチウムイオンバッテリー取り外し

注意: 放電・高電圧遮断・リチウムイオンバッテリー取り外しは、液材やフロンガス抜き取りなどの適正処理前に行うこと。



(1) 放電手順

下記手順に従い、リチウムイオンバッテリーを放電すること。

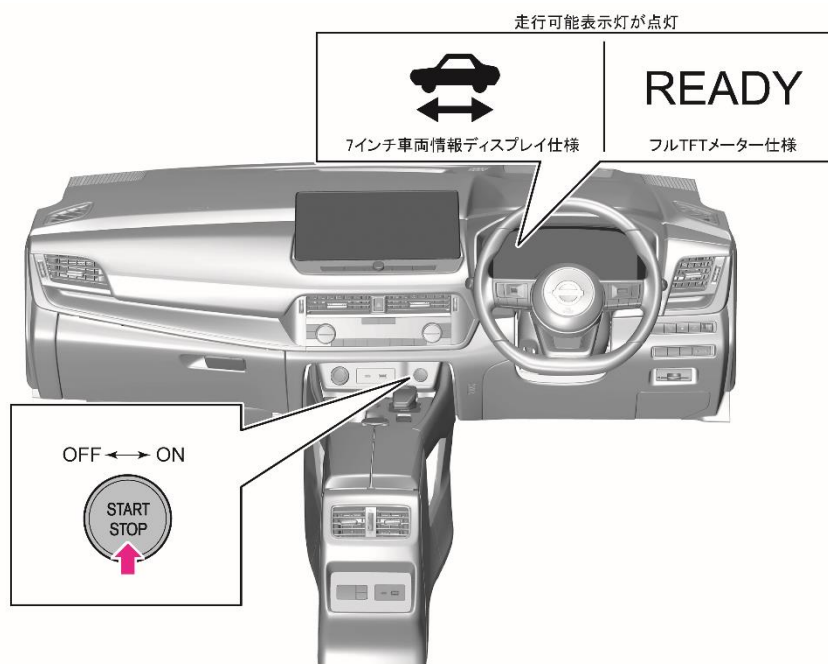
※ 右図に示すバッテリーのメーター表示について



・黄色の場合: 本操作は不要です。

・青色の場合: 以下の手順を行う。

- ① セレクトレバーをPにし、パーキングブレーキを作動させる。車止め等を使い車両が動かないよう固定する。
- ② 運転席のドアを閉め、ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチの電源ポジションをONにする。走行可能表示灯が点灯することを確認する。

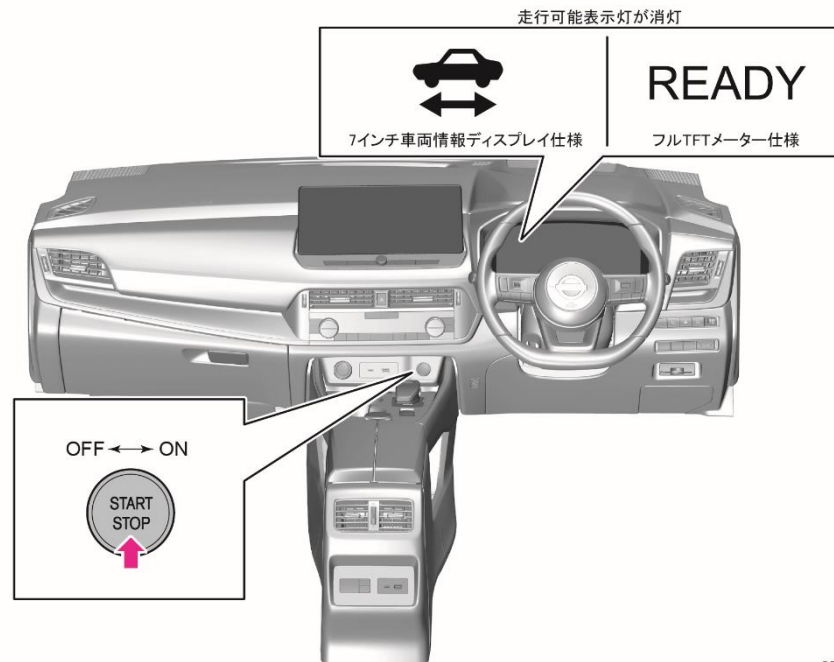


- ③ 捕機類(フロントワイパー、リアワイパー、ハイビーム、ハザード、エアコン)全てONにする。
※ エアコンは設定温度 25℃未満、FAN 速 MAX、A/C ON で駆動して下さい。
- ④ 3 秒に 1 回の割合でブレーキペダルを 1 回深く踏み込み、離す操作を繰り返してください。ブレーキの負圧を生成するモーターが駆動しバッテリーが放電されます。(6 分～10 分程度)

リチウムイオンバッテリー取り外し

- ⑤ バッテリーメーターの表示が黄色になったら、パワースイッチの電源ポジションを OFF にする。
走行可能表示灯が消灯することを確認する。
※ OFFしないとバッテリーが充電され始めます。

以上で放電作業が完了する。



RES0635J

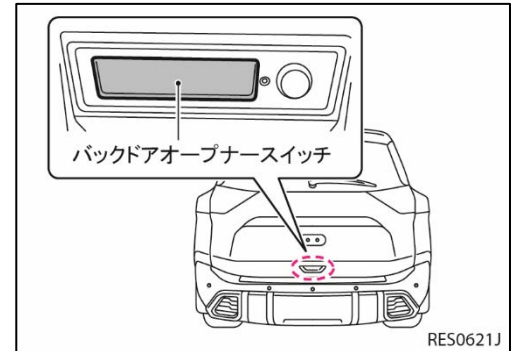
リチウムイオンバッテリー取り外し

(2) 高電圧遮断手順

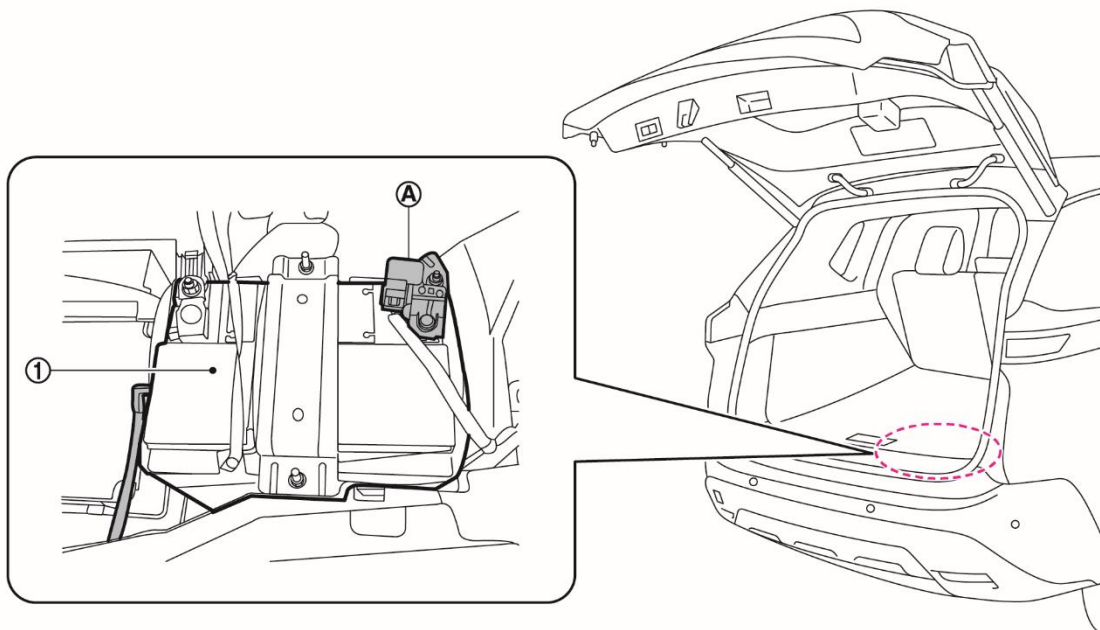
- 1) パワースイッチを押して OFF にする。

注意: インテリジェントキーは作業者自ら保管すること。

- 2) バックドアオープンスイッチを押し、バックドアを開く。



- 3) ラゲッジフロアボードを外す。
- 4) ラゲッジフロアボックスを外す。
- 5) 12V バッテリー①のマイナス端子Ⓐを取り外し、絶縁テープで覆う。(バックドアのロック部分にテープを巻き、ロックしないようにする。)不可能な場合は、12V 系回路が遮断できません。ハーネスのショート、又は衝撃により SRS エアバッグシステムが突然展開し、重大な障害につながる可能性がありますので、十分な対策を行ってください。

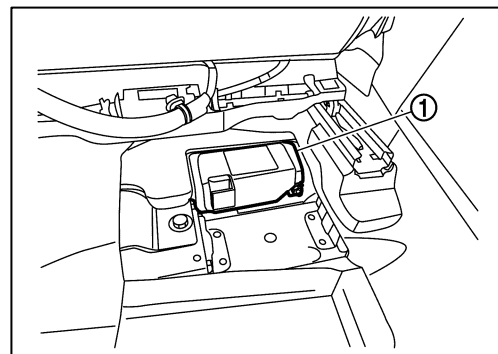


- 6) パワースイッチ OFF 後、高電圧用コンデンサーの放電が完了するまで、10 分間放置する。

リチウムイオンバッテリー取り外し

7) 以下の手順でサービス・プラグを取り外す。

7)-1. 運転席下のフロアカーペット切り口をめくり、サービスプラグカバー①の取り付けボルトを取り外し、サービスプラグカバーを取り外す。

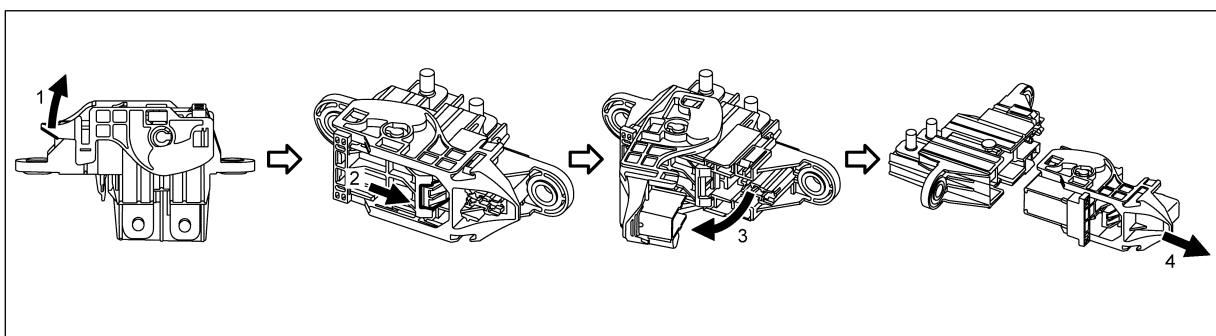


7)-2. 図の手順でサービス・プラグを取り外す。

危険: ⚠ 端子部に触れると感電するおそれがあるため、必ず絶縁保護具を着用すること。

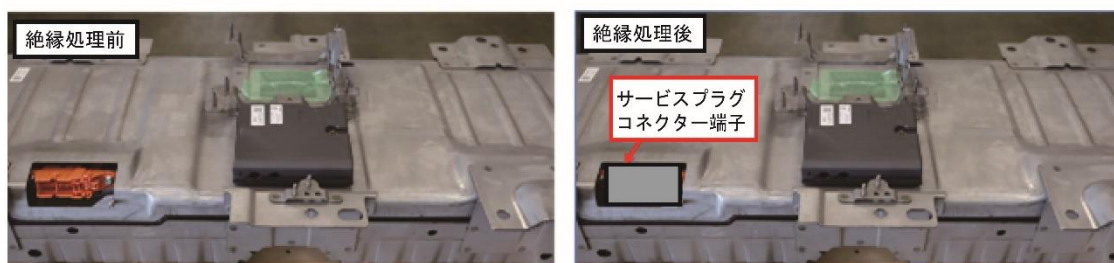


1. レバーが停止するまで起こす。
2. 爪を押して、ロックを解除する。
3. レバーを起こす。
4. サービス・プラグを引き抜く。



警告: ⚠ 取り外したサービス・プラグは作業中に他の人が誤って接続することがないように、作業者自ら保管すること。

警告: ⚠ 外したサービス・プラグコネクタは端子が露出しないよう、直ちにバッテリー側を絶縁テープで保護すること。



 : 絶縁テープ

8) サービス・プラグ取り外し後、10 分以上経過してから次の作業を開始する。

(3) フロントシートの取り外し

- 1) ヘッドレストを取り外す。
- 2) シートを最前位置までスライドさせる。
- 3) 後側の取付ボルトを外す。
- 4) シートを最後位置までスライドさせる。
- 5) 前側の取付ボルトを外す。
- 6) シートクッション下部のハーネスコネクタ取付クリップ及びハーネス取付クリップを外し、ハーネスコネクタの接続を外す。

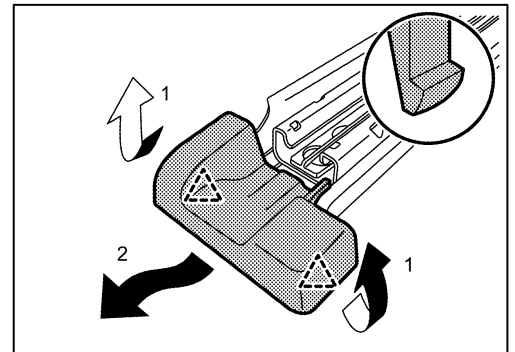
注意: 取り外す前にハーネスコネクタ及びハーネスクリップの位置を確認しておくこと。

- 7) 車両よりフロントシートを取り外す。

(4) リヤシートの取り外し

- 1) ヘッドレストを取り外す。
- 2) シートを最前位置までスライドさせる。
- 3) 取付樹脂爪のかん合を図の 1→2 の順に外し、シートレッグカバーを取り外す。(左シート)

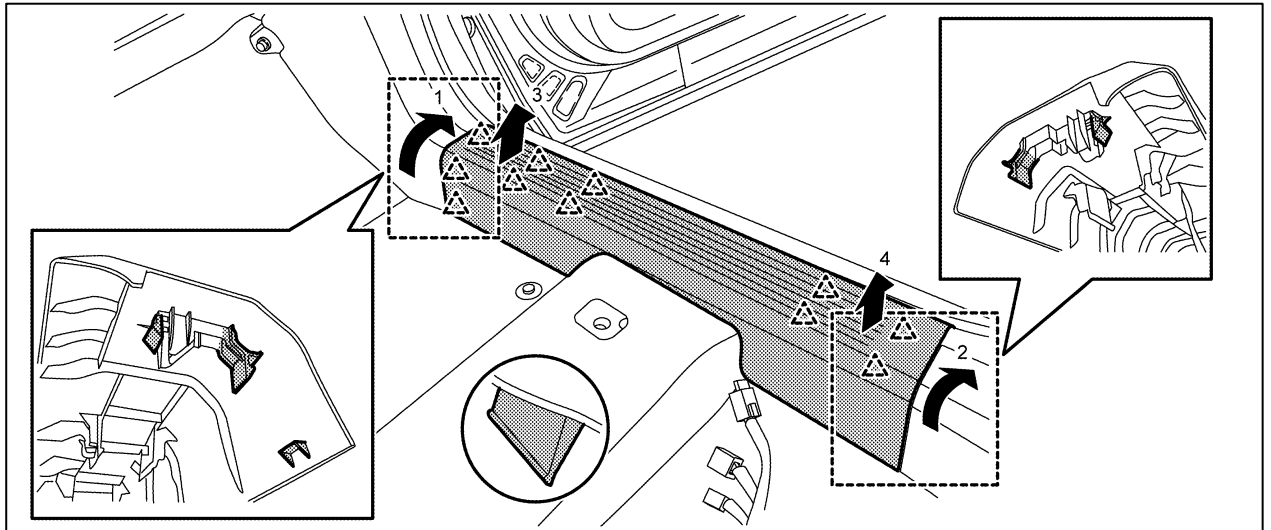
△: 樹脂爪



- 4) 後側の取付ボルトを外す。
- 5) シートを最後位置までスライドさせる。
- 6) 前側の取付ボルトを外す。
- 7) ハーネスコネクタの接続を外し、車両よりリヤシートを取り外す。

(5) フロント及びリヤのキッキングプレートを取り外し

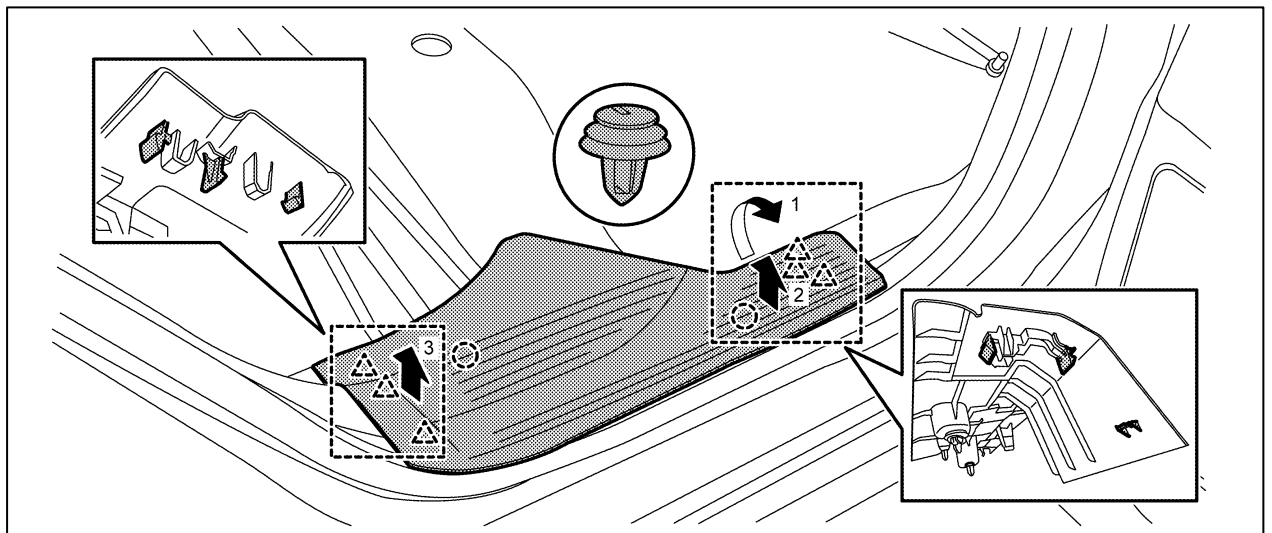
- 1) フロントキッキングプレート取付樹脂爪のかん合を、図の矢印 1→4 の手順で外し、フロントキッキングプレートを取り外す。



△:樹脂爪

- 2) リヤキッキングプレートの取付樹脂爪のかん合を、図の矢印 1→2 の手順で外し、リヤキッキングプレートを取り外す。

(2 列シート車)

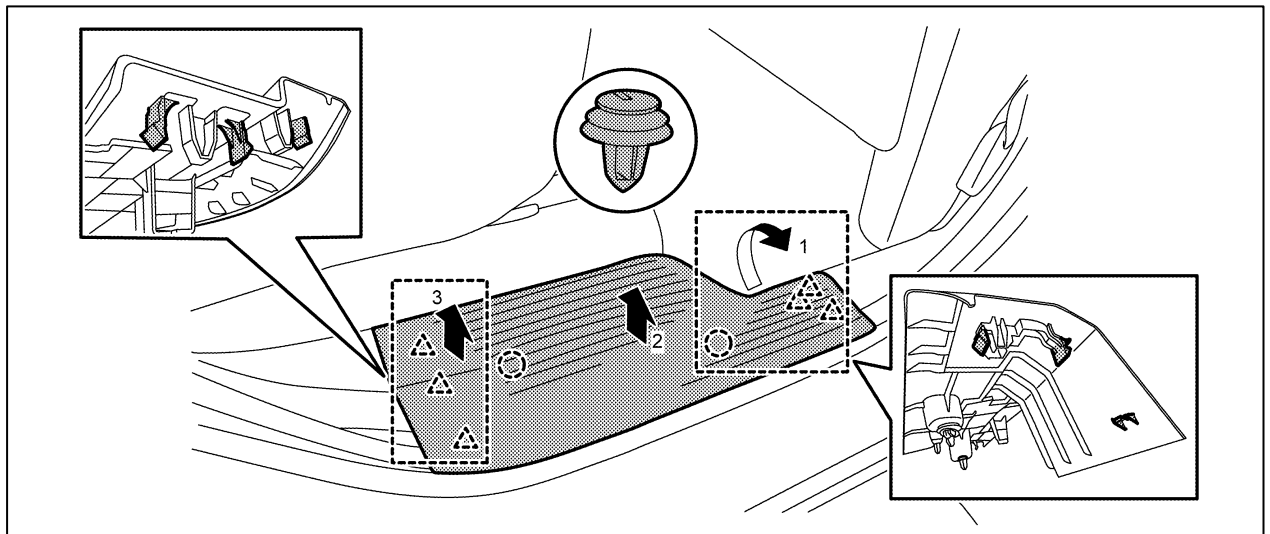


○:樹脂クリップ

△:樹脂爪

リチウムイオンバッテリー取り外し

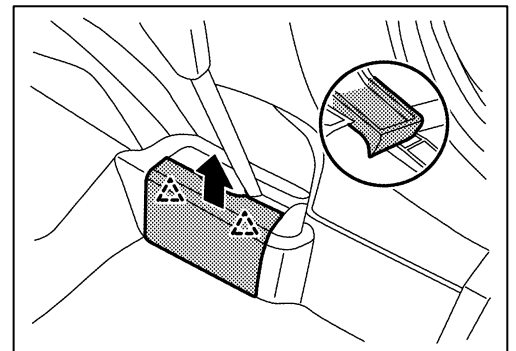
(3 列シート車)



(6) センタピラーロアガーニッシュの取り外し

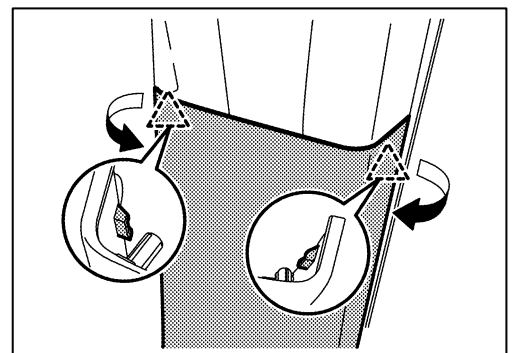
- 1) フロントドア及びリヤドアを全開にする。
- 2) センタピラーロアガーニッシュ部分のフロントボディサイドウエルト及びリヤボディサイドウエルトを外す。
- 3) シートベルトカバー取付樹脂爪のかん合を外し、シートベルトカバーを取り外す。

△: 樹脂爪



- 4) センタピラーロアガーニッシュ取付樹脂爪のかん合を外す。

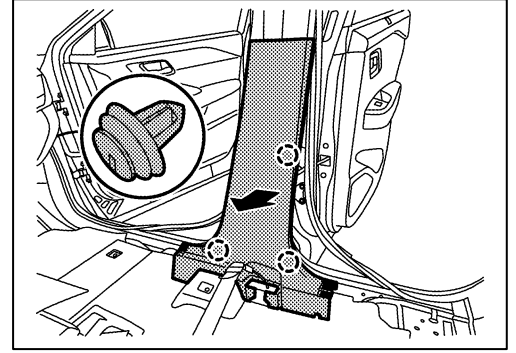
△: 樹脂爪



リチウムイオンバッテリー取り外し

- 5) センタピラーロアガーニッシュ取付樹脂クリップのかん合を外し、センタピラーロアガーニッシュを取り外す。

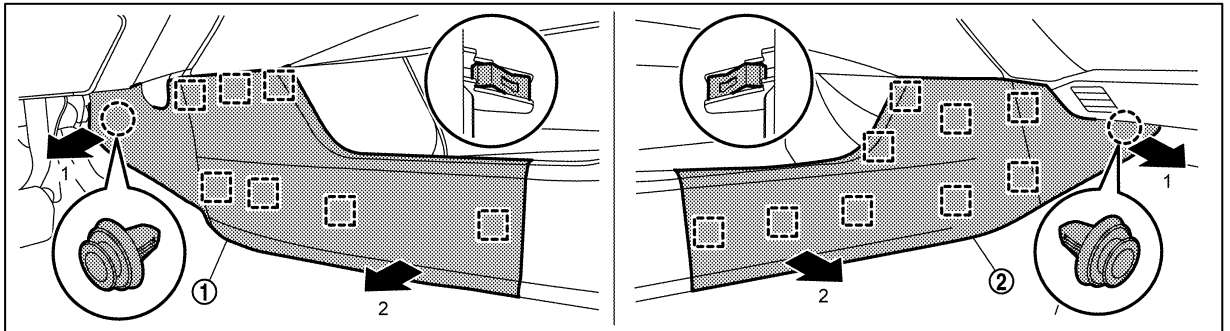
○: 樹脂クリップ



(7) DC/DC コンバータブラケットロアの取り外し

- 1) センタコンソール ASSY を取り外す。

1)-1. 図の矢印 1→2 の順にメタルクリップ及びクリップのかん合を外し、インストルメントサイドパネル 左右①及び②を取り外す。

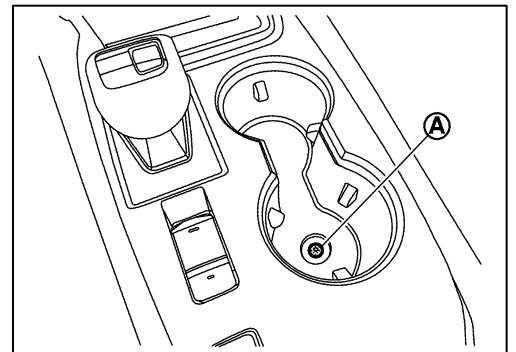


○: クリップ

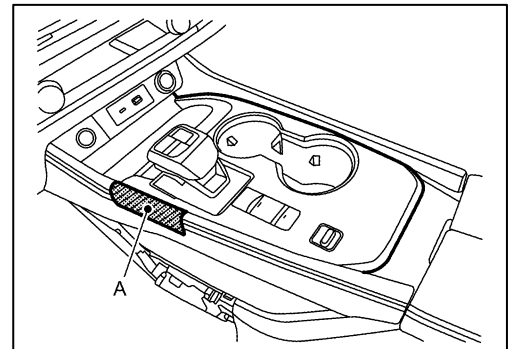
□: メタルクリップ

- 1)-2. コンソールフィニッシャ ASSY を取り外す。

a) カップホルダマットを取り外し、コンソールフィニッシャ取付スクリュー(A)を外す。



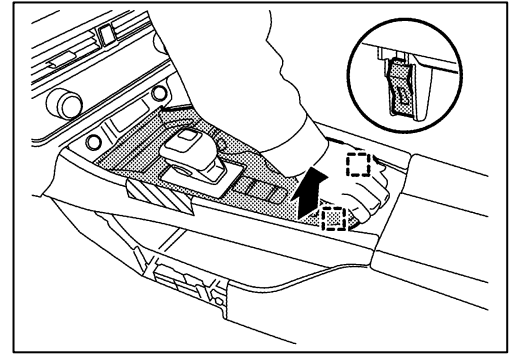
b) 傷付き防止のため、保護テープ(A)を外す。



リチウムイオンバッテリー取り外し

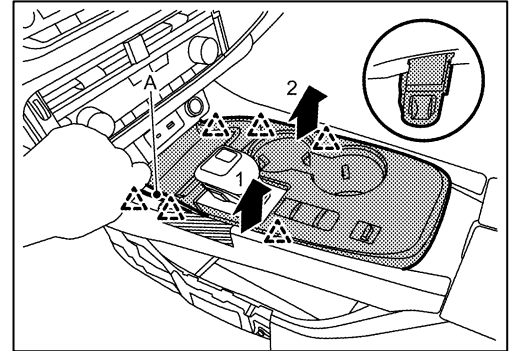
- c) コンソールフィニッシャを図の矢印の方向に持ち上げ、メタルクリップのかん合を外す。

□:メタルクリップ



- d) リムーバーツール(A)を使用し図の矢印 1→2 の順に樹脂爪のかん合を外す。

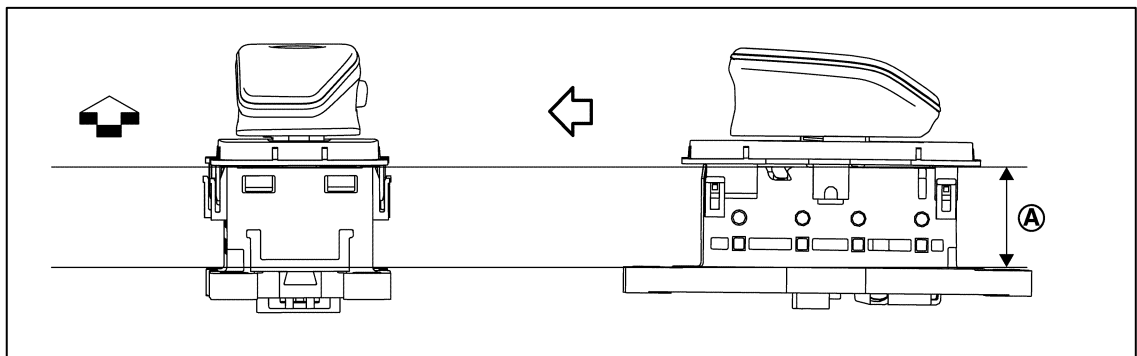
△:樹脂爪



- e) ハーネスコネクタの接続を外し、コンソールフィニッシャ ASSY を取り外す。

- 1)~3. 電制シフトセレクトを取り外す。

注意:



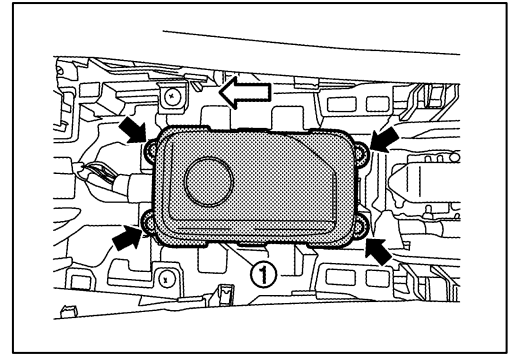
⇄:車両前方

- 図の①部には強力な磁石が内蔵されているため、医療電気機器使用者の身体に近づけないこと。強力な磁石の影響により医療電気機器の誤作動を引き起こすおそれがある。
- 磁気カード、金属製品(時計など)、磁力のあるものを近づけないこと。
- 電制シフトセレクトを落下させたり、衝撃を与えたり、水をかけたり、多湿下で放置しないこと。

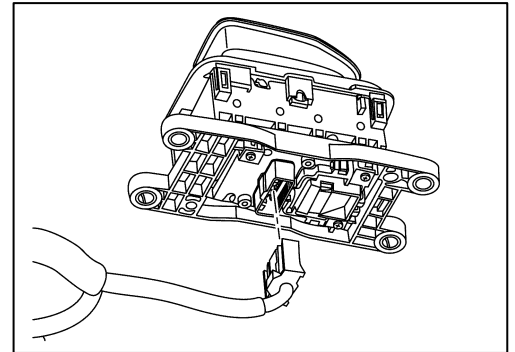
リチウムイオンバッテリー取り外し

- a) 電制シフトセクタ①の取付ボルト(←)を取り外す。

⇐ : 車両前方



- b) 電制シフトセンサのハーネスコネクタを外す。



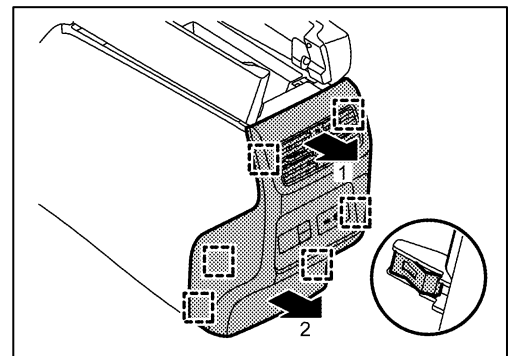
- c) 電制シフトセクタを取り外す。

- 1)-4. コンソールリヤフィニッシュを取り外す。

- a) コンソールリッドを取り外す。

- b) 図の矢印 1→2 の順に引きメタルクリップのかん合を外す。

□: メタルクリップ

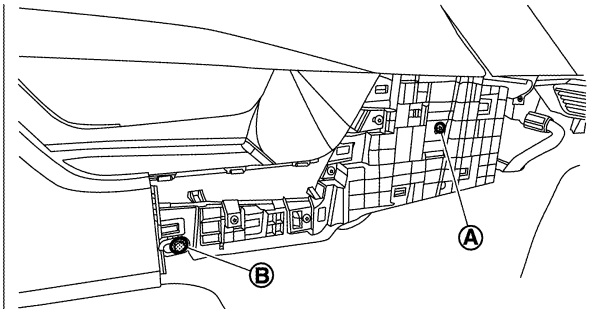
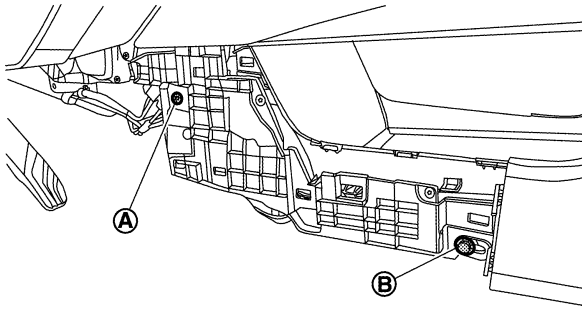


- c) ハーネスコネクタの接続を外し、コンソールリヤフィニッシュを取り外す。

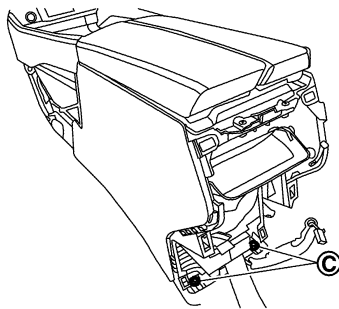
リチウムイオンバッテリー取り外し

1)~5. センタコンソール ASSY 取付スクリュー①A、ボルト②B及びナット③Cを外す。

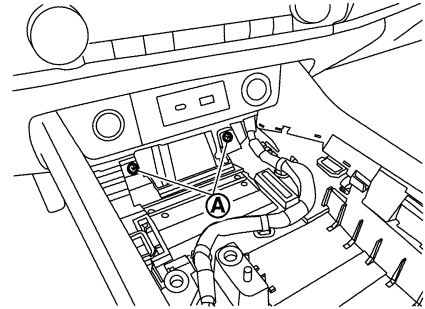
前方



後方



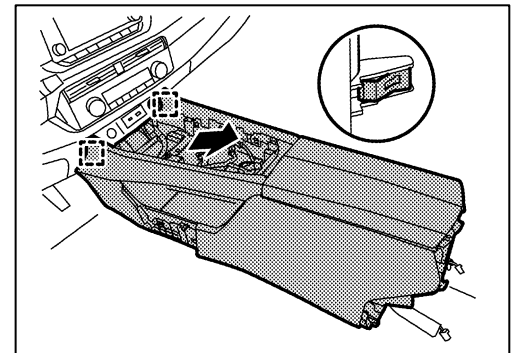
上方



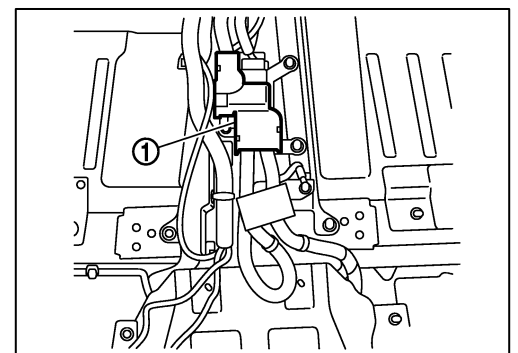
1)~6. センタコンソール ASSY を取り外す。

- ハーネスコネクタの接続及び取付クリップを外す。
- 図の矢印の方向に引きメタルクリップのかん合を外し、センタコンソール ASSY を取り外す。

□: メタルクリップ

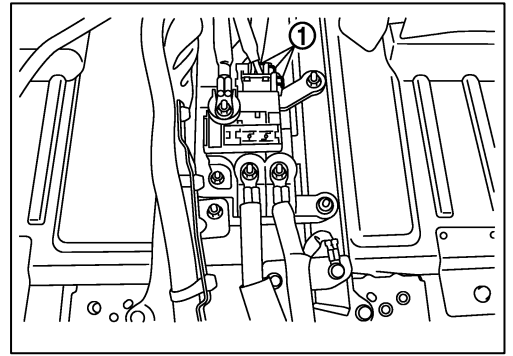


- カーペット取外し時に必要な各ユニット、ハーネスコネクタ及びハーネスクリップを外す。
- センタフロアカーペットとスペーサを取り外す。
- ハーネスカバー①を取り外す。

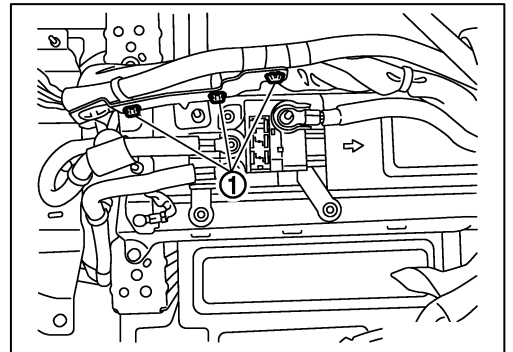


リチウムイオンバッテリー取り外し

- 5) ハーネスコネクタ①を取り外す。

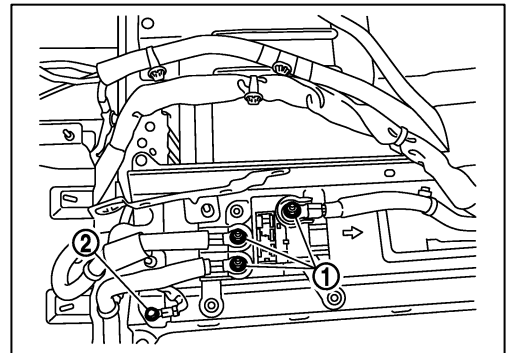


- 6) ハーネスクリップ①をブラケットから外す。



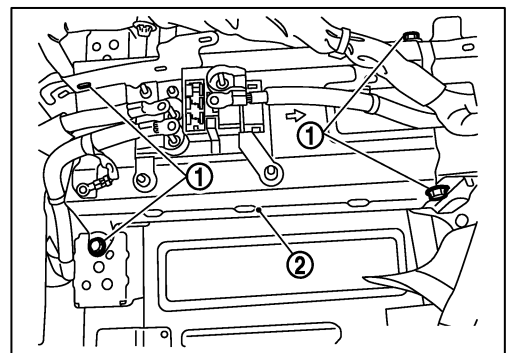
- 7) ハーネスナット①とハーネスボルト②を取り外す。

警告: ⚡ 絶縁保護具を着用すること。



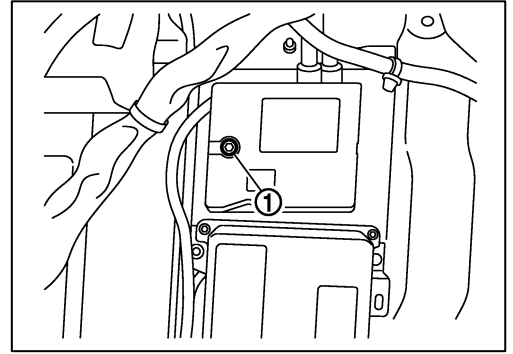
- 8) キッキングプレート取付ボルト①を取り外し、キッキングプレート②を取り外す。

警告: ⚡ 絶縁保護具を着用すること。



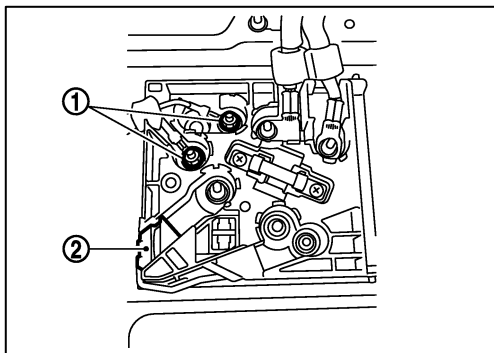
リチウムイオンバッテリー取り外し

- 9) 端子台カバーボルト①を取り外し、端子台カバーを開く。

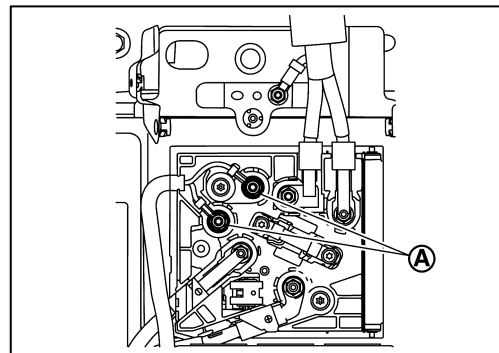


- 10) 端子台から高電圧ハーネス取付ナット① (2WD)、または、④ (4WD)を取り外す。

2WD



4WD



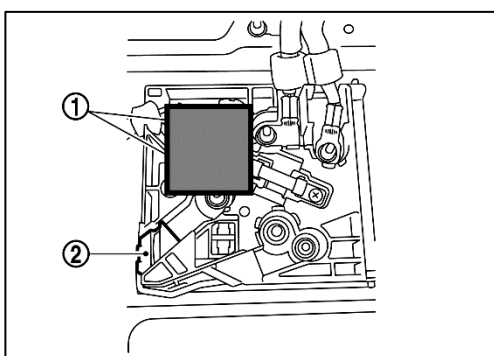
警告: ⚠ 絶縁保護具を着用すること。



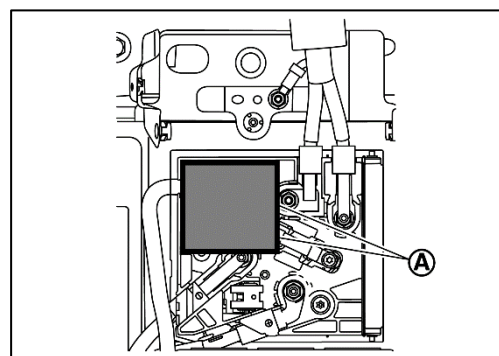
参考: 防水キャップ②は取り外さないこと。

警告: ⚠ 外した高電圧ハーネスコネクタは端子が露出しないよう、直ちに絶縁テープで保護すること。

2WD



4WD

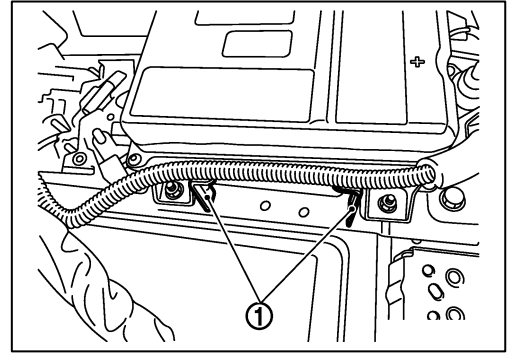


 : 絶縁テープ

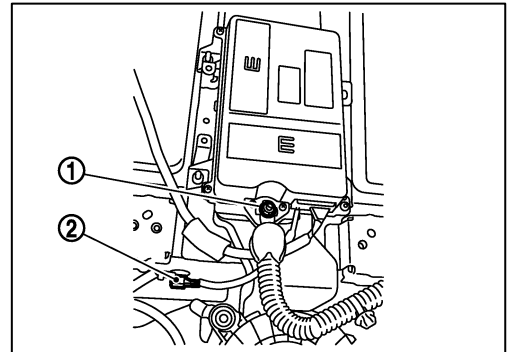
リチウムイオンバッテリー取り外し

11) ハーネスクリップをブラケット①から取り外す。

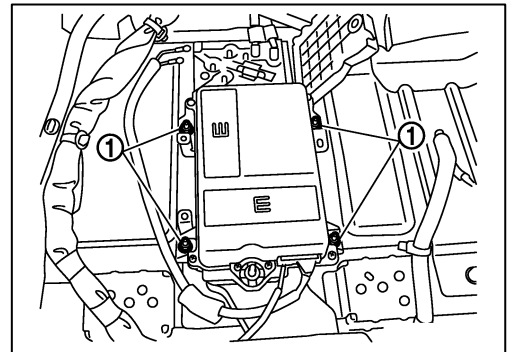
警告:  絶縁保護具を着用すること。



12) DC/DC コンバータハーネスナット①とハーネスコネクタ②を取り外す。



13) DC/DC コンバータハーネス取付ボルト①を取り外す。



14) DC/DC コンバータブラケットロア取付ボルトを取り外す。

警告:  絶縁保護具を着用すること。



15) DC/DC コンバータブラケットと DC/DC コンバータブラケットロアを一緒に取り外す。

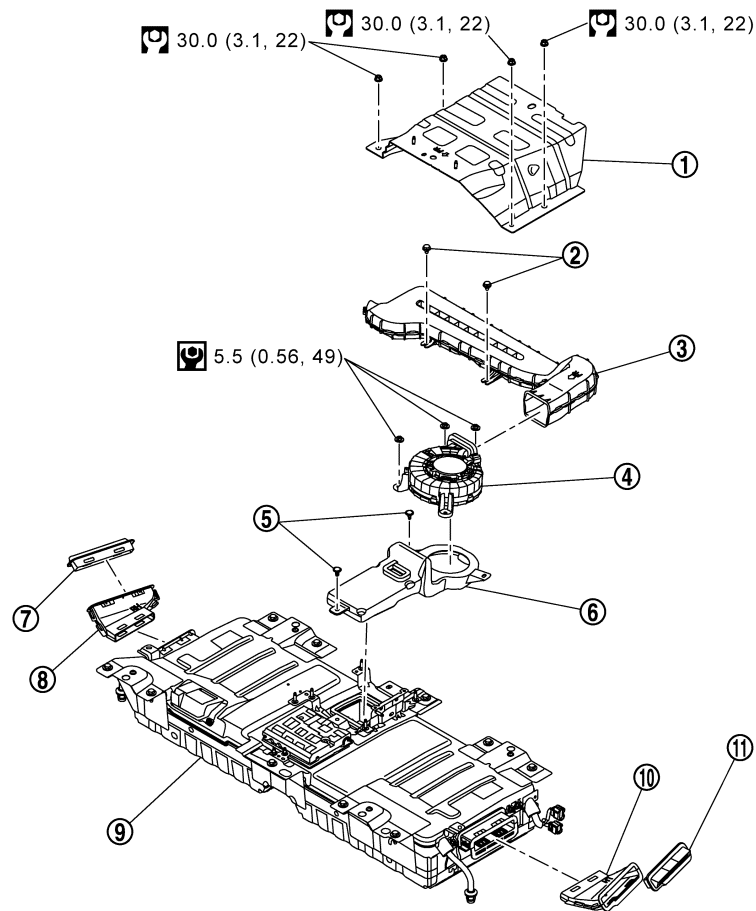
警告:  絶縁保護具を着用すること。



リチウムイオンバッテリー取り外し

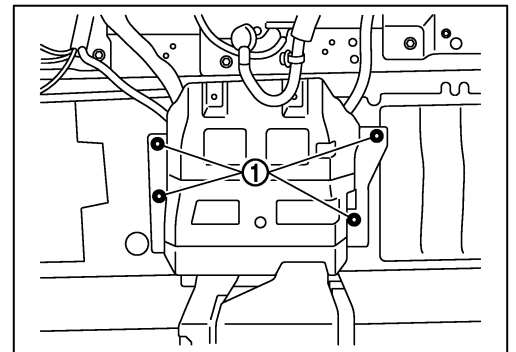
(8) バッテリー冷却システムの取り外し

SEC. 291



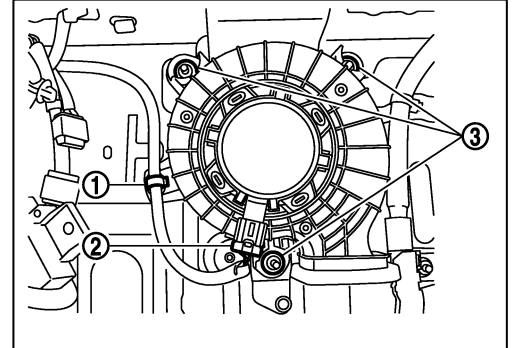
- | | | |
|--------------------------|--------------------|---------------------------|
| ① リチウムイオンバッテリー冷却ファンプロテクタ | ② クリップ | ③ エアダクト |
| ④ バッテリー冷却ファン | ⑤ クリップ | ⑥ リチウムイオンバッテリークーラアウレットダクト |
| ⑦ バッテリーラインレットグリル左側 | ⑧ バッテリーラインレットダクト右側 | ⑨ リチウムイオンバッテリー ASSY |
| ⑩ バッテリーラインレットダクト右側 | ⑪ バッテリーラインレットグリル左側 | |

- 1) バッテリーラインレットグリル右側、バッテリーラインレットグリル左側をセンタフロアカーペットから取り外す。
- 2) リチウムイオンバッテリー冷却ファンプロテクタ取付ボルト①を取り外し、リチウムイオンバッテリー冷却ファンプロテクタを取り外す。

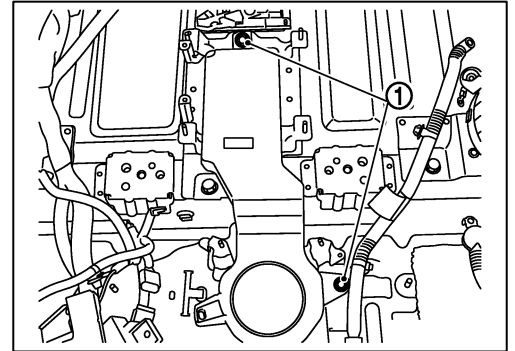


リチウムイオンバッテリー取り外し

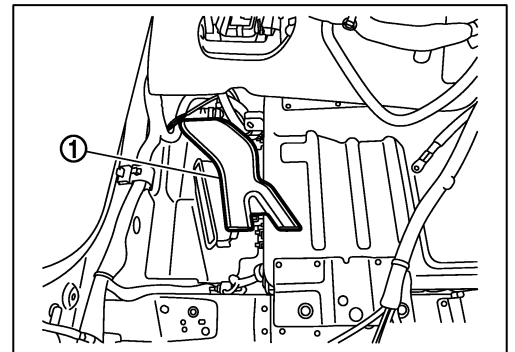
- 3) アラウンドビューモニター C/U を取り外す。
- 4) ADAS C/U 2 の取付ナットを取り外し、ADAS C/U 2 を取り外す。
- 5) エアダクトを取り外す。
- 6) バッテリー冷却ファンハーネスクリップ①と冷却ファンハーネスコネクタ②を外し、バッテリー冷却ファン取付ボルト③を取り外す。



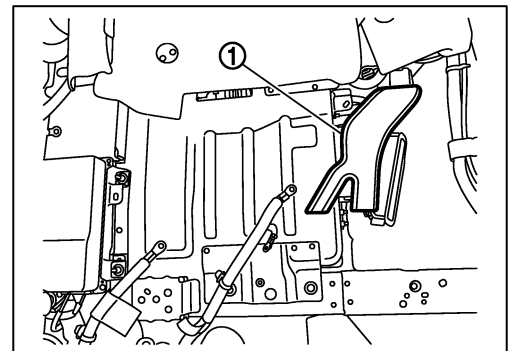
- 7) バッテリー冷却ファンを取り外す。
- 8) リチウムイオンバッテリークーラアウトレットダクトクリップ①を取り外す。



- 9) リチウムイオンバッテリークーラアウトレットダクトを取り外す。
- 10) フロントヒータダクト左①を取り外す。



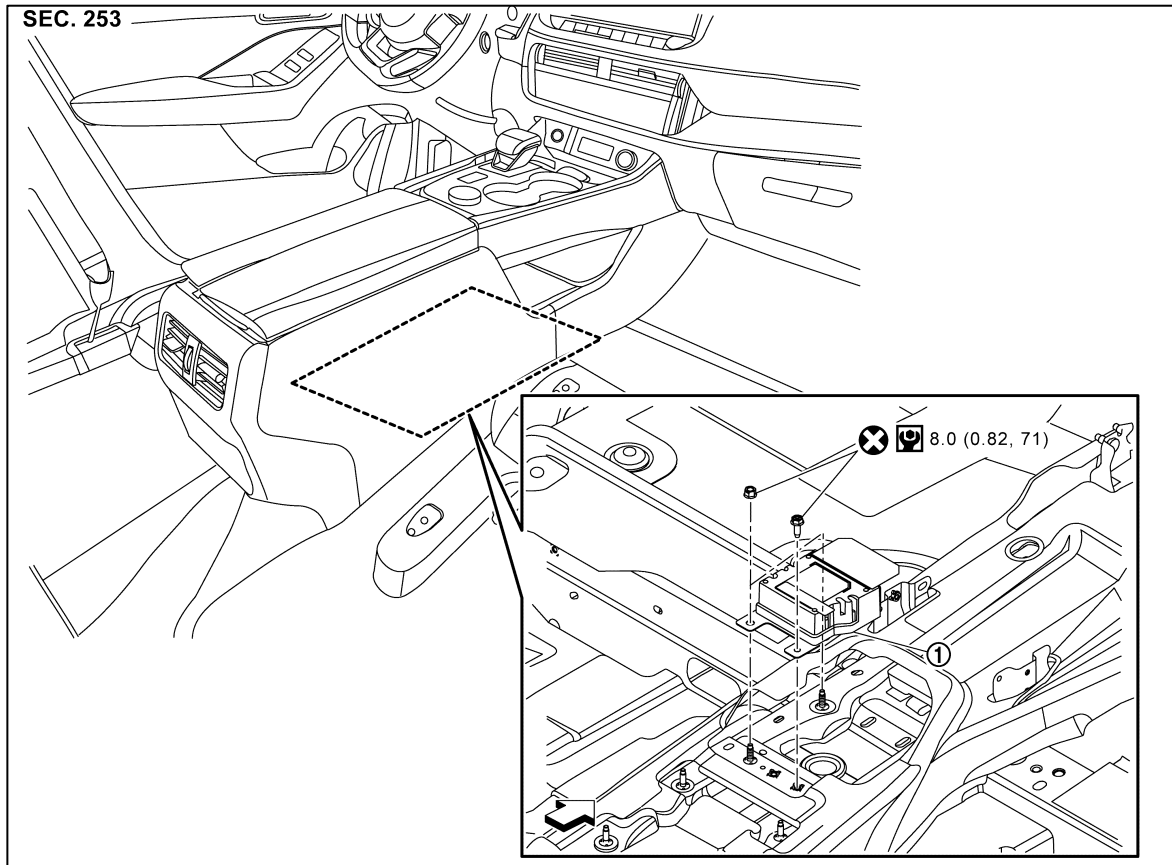
- 11) フロントヒータダクト右①を取り外す。



- 12) バッテリークーラインレットダクト右側とバッテリークーラインレットダクト左側を取り外す。

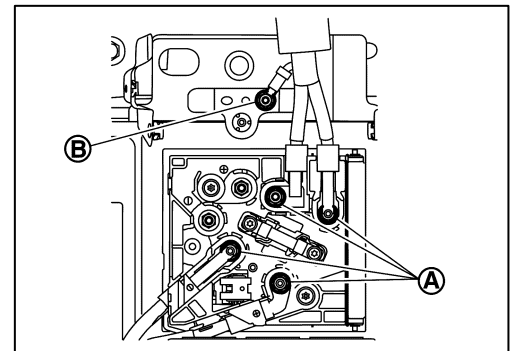
(9) リチウムイオンバッテリーの取り外し

- 1) エアバッグセンサユニットハーネスコネクタの接続と取付ボルト及びナットを外し、エアバッグセンサユニットを取り外す。



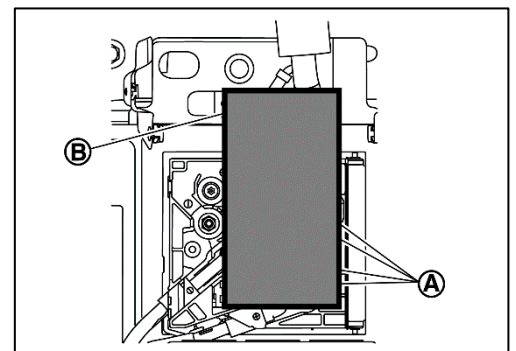
- 2) 端子台の高電圧ハーネス取付ナット①と高電圧ハーネスのアースケーブルボルト②を取り外す。

警告: 絶縁保護具を着用すること。



警告: 外した高電圧ハーネスコネクタは端子が露出しないよう、直ちに絶縁テープで保護すること。

: 絶縁テープ

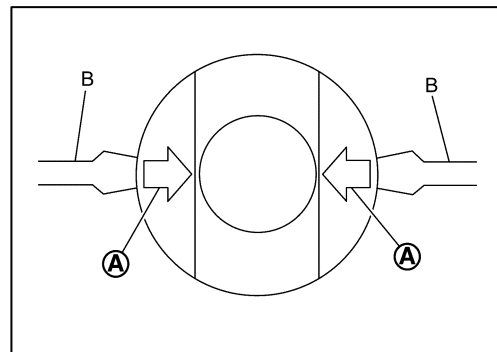


リチウムイオンバッテリー取り外し

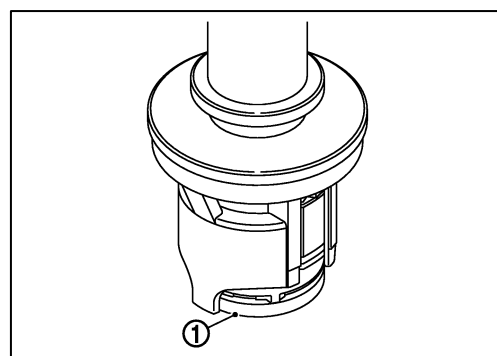
- 3) ガス排出チューブをガス排出チューブキャップと共に車体側から取り外す。

警告: リチウムイオンバッテリー側で取り外さないこと

参考: マイナスドライバー (B) などの工具を両方の矢印 (A) の方向に同時に挿入し、つめを押してガス排出チューブキャップを車両から取り外す。

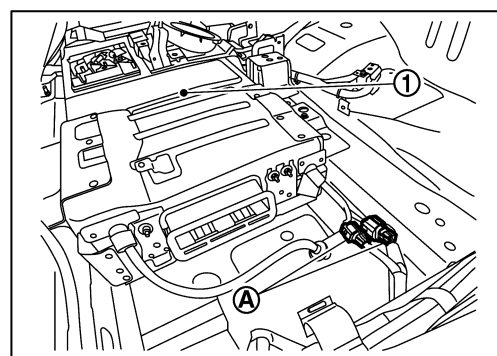


注意: ガス排出チューブキャップ先端部①を外さないこと。



- 4) ハーネスコネクタ (A) を外す。

① : リチウムイオンバッテリー ASSY



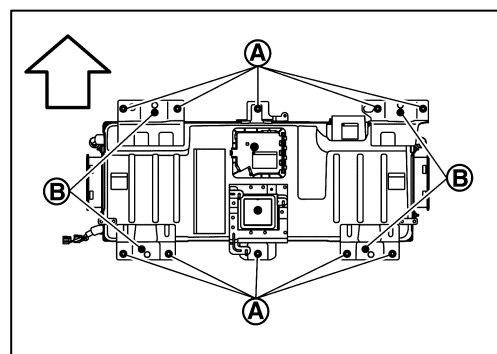
- 5) リチウムイオンバッテリー取付ボルト (A) を取り外す。

警告:  絶縁保護具を着用すること。



注意: 本手順ではレインフォースアツパ取付ボルト (B) は取り外さないこと。

↔ : 車両前方



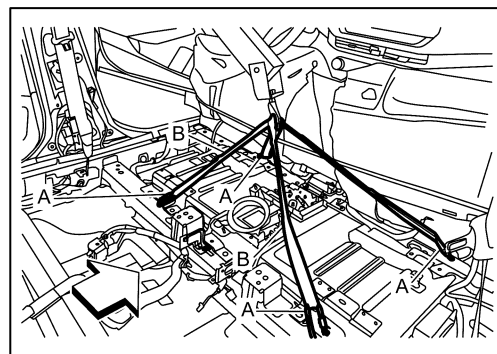
リチウムイオンバッテリー取り外し

6) 以下の要領で、リチウムイオンバッテリーを車室内から取り外す。

6)-1. エンジンクレーンがアクセス困難な場合、必要に応じてリジットジャッキで車両全体をエンジンクレーンがアクセスできる位置まで持ち上げた状態で作業すること。

6)-2. 図の位置にカラビナ(A)を掛け、スリングベルト(B)を2つに折り取り付ける。

警告:  絶縁保護具を着用すること。

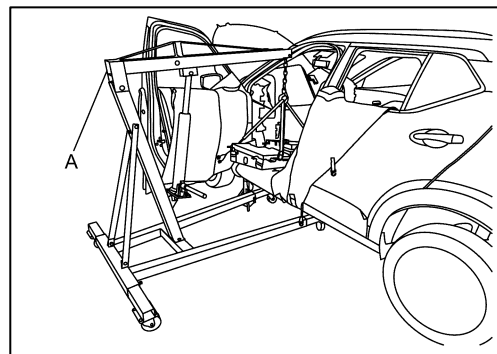


⇐ : 車両前方

注意: カラビナは対角に取り付けること。

6)-3. エンジンクレーン(A)を使用し、リチウムイオンバッテリー ASSY を車体左側から取り外す。

警告:  絶縁保護具を着用すること。



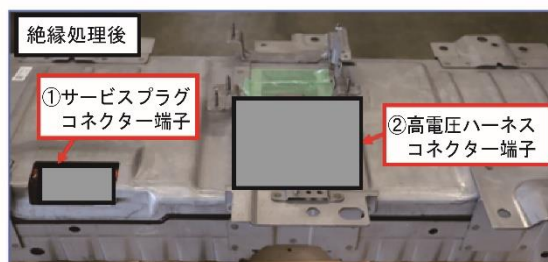
7) リチウムイオンバッテリー ASSY を作業台へ移動する。

警告:  絶縁保護具を着用すること。



8) サービス・プラグコネクタ及び高電圧ハーネスコネクタの端子全てが絶縁テープでふさがれていることを確認する。

以下絶縁処理箇所①、②について写真の通り絶縁処理を実施願います。



 : 絶縁テープ

10. 引き取りの準備

輸送業者が回収日に網パレットを持参します。

発行 日産自動車株式会社

車両生産技術開発本部

環境 & ファシリティエンジニアリング部

お問い合わせ先 リチウムバッテリー回収受付窓口

ゼロエミ・ゴーゴー

Tel: 0120-083-505

本書は、著作権で保護されております。私的複製を除き、本書の全文又は一部を日産自動車（株）に無断で複製、改変することなどを、媒体を問わず禁止します。このような不正使用行為は、民事上の損害賠償の、また刑事罰の対象となります。

©Copyright 2022 NISSAN MOTOR Co. Ltd., All rights reserved